



令和 6 年度

学校関係者評価報告書

学校法人諏訪学園
山形医療技術専門学校

学校法人諏訪学園山形医療技術専門学校の学校評価委員会は、令和 6 年度自己評価に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、その結果を以下のとおり公表いたします。

1 学校関係者評価について

専修学校における学校評価は、平成 19 年の学校教育法及び同施行規則の改正により、学校関係者評価の実施・結果の公表に関する努力義務が課されています。また、職業実践専門課程に認定されている課程においては、学校関係者評価を必ず実施することとなっています。本校では、「専修学校における学校評価ガイドライン」（文科省：平成 25 年 3 月）に基づき、**学校評価・学校関係者評価実施規程**を定め学校関係者評価を行なっています。

2 学校関係者評価の目的

関連業界、職能団体等関係者、卒業生、教育に知見を有する者などの学校関係者が、山形医療技術専門学校の学校評価結果を評価することで学校評価の客観性、透明性を高めるとともに、学校関係者から学校運営、教育活動の現状における課題について意見、要望を受け継続的な改善をはかること並びに特色ある学校づくりを目的としています。

3 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価をおこなうにあたり、本校の「自己評価報告書」を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」（文科省：平成 25 年 3 月）に則り実施することを基本方針とします。

4 学校関係者評価委員会委員

区分	氏名	役職/所属等	外部委員選任根拠	外部委員任期
委員長	岩田正巳	校長	－	
委員	杉原敏道	副校長		
委員	磯部佳宏	総務部長	－	
委員	長沼誠	教育部長		
委員	武田貴好	教務課長	－	
委員	舩山貴子	理学療法学科長	－	
委員	鈴木竜平	作業療法学科長	－	
外部委員	澁江学美	山形大学学術研究院 大学院教育実践研究科 教授	教育に知見を有する者	令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
外部委員	飯塚哲	サンワ機器 代表取締役	地域住民 会社経営者	令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
外部委員	高橋怜児	至誠堂総合病院 理学療法士	関係業界 卒業生	令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
外部委員	柏倉昭之	篠田総合病院 作業療法士	関係業界 卒業生	令和 7 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

5 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時 令和7年5月9日（金） 15：00～16：30

場 所 山形医療技術専門学校 会議室

6 学校関係者評価方法

「令和6年度自己評価報告書」に基づき、基準項目の結果と今後の改善方策について以下のポイントに留意しながら評価をおこないました。

- （1）自己評価結果の内容が適切かどうか
- （2）今後の改善方策は適切かどうか
- （3）学校の運営改善に向けた取組が適切かどうか
- （4）その他、学校運営に関する意見、要望等

7 学校関係者評価結果

評価については、◎適切である、○ほぼ適切である、△やや不適切である、×不適切である再検討が必要、の4段階の評価をおこなっている。

基準並びに項目に対する学校関係者の評価は、以下のとおりです。

基準並びに項目	評価(1)	評価(2)	評価(3)
基準1 教育理念・目的・人材育成像	◎	◎	○
基準2 学校運営	◎	◎	◎
基準3 教育活動	◎	○	◎
基準4 学修成果	○	○	◎
基準5 学生支援	○	○	○
基準6 教育環境	◎	◎	◎
基準7 学生の受入れ募集	○	○	◎
基準8 財務	◎	◎	◎
基準9 法令等の遵守	◎	◎	◎
基準10 社会貢献・地域貢献	○	◎	○

関係者評価委員会からの意見要望(委員会質疑応答)

教育活動

カリキュラムが変更となってから5年経過し卒業生も出ているが、実際のところ教育効果としてはどうだったか伺いたい。

科目間のつながりを意識した配置となっていることから、教える側も効率的に教育が行え、学生の理解度も高まっているように感じている。臨床実習指導者や就職先からも概ね好評である。現状に満足することなく今後もブラッシュアップを図っていきたいと考えている。

学修成果

6年連続での両学科揃っての国家試験合格率100%は、大変素晴らしい結果であると思われる。また、留年・退学者がこれまでより減少傾向にあるように思われるが、その要因を伺いたい。

これまでの留年・退学対策として、個別面談をまめに実施して個々の学生の状況把握に努め、問題が大きくなる前に対応していくよう取り組んできた成果と考えている。これに加えて、学校祭や球技大会の開催により学生間の交流を図ることで、クラス内の人間関係や学年間の縦のつながりが強化され、孤立することが少なくなり学修のモチベーション向上へつながった一因と考えている。

卒業後のキャリア形成への教育活動の一環として、様々な資格取得を目指せる講座の開設を検討しているとのことであったがその後の状況を伺いたい。

保育士免許取得を目指せる講座に加え、スポーツ分野に興味のある学生向けにパーソナルトレーナーの資格取得や福祉住環境コーディネーター、認知症ケア指導管理士などの講座開講の時期や内容について具体的に準備を進めている。

学生支援

病院・クリニックへ就職した者の割合が高く、特に理学療法学科では介護保険分野へ就職した者は居なかったがその理由を伺いたい。

県内の介護保険領域の求人が少なかったことと、新カリキュラムから追加となった地域実習等を通して介護保険分野への理解は深まっているが、たまたま興味を持った学生が居なかっただけである。

コロナ禍以降、授業参観等の行事を取りやめているが、どのようにして保護者との連携強化を図っているのか伺いたい。

保護者との適切な連携を築くために日常的な情報発信を行っており、ホームページのリニューアルにより、SNS による保護者に向けた情報提供等を充実させて連携を図っていきたいと考えている。今後は授業参観などについても希望があれば、再開していきたいと考えている。

学校公認のサークル活動を行っているとのことであるが、現在の状況を伺いたい。

公認サークルに関する規程を整備し、一定期の基準に基づいて公認を受けたサークル活動に対して支援を行っている。現在、サッカーやバドミントン、写真サークルなどが活動を行っている。

教育環境

情報処理室のパソコンを入れ替えたということであるが、その状況について伺いたい。

旧機種は導入から 5 年以上経過しており、処理速度の遅延や教育用ソフトウェアの対応限界などが生じていました。今年度より教育の質向上および学生の利便性を第一に、学生の主体的な学びを支援する ICT 環境の整備の一環として情報処理室のパソコンを入れ替えましたが、今回の整備はその第一歩であり、今後もソフトウェア・ネットワーク環境等 ICT 環境の総合的な改善を順次進めていく予定である。

学生の受け入れ募集

入試の志願者が減少および作業療法学科における定員割れに対する具体的な対策などについて伺いたい。

これまでの対策として、高校生の情報収集がスマートフォンによることから、令和 7 年度よりスマートフォン対応のホームページに完全リニューアルを行い、これまで以上に SNS を利用した情報発信等に注力し学校の魅力を発信していく。また、オープンキャンパスは春季・夏季に加え冬季にも開催すると共に、進学ガイダンスの開催時期と回数を見直し、理学療法士・作業療法士の理解を深め興味を持ってもらえるような機会を増やしていきたいと考えている。さらに、オープンキャンパスを含め本校開催のイベントに 2 回以上参加した場合、入試検定料を免除することとし、学校の魅力を伝える機会を増やすことで受験につながることを期待している。

入試については、これまで本校の推薦枠に漏れてしまい県外の専門学校を受験していた層の受験機会とするため総合型選抜を新たに実施する。